



諏訪神社本殿

町重要文化財
昭和50年2月26日 町告示 第7号

●所在地／大字上羽出庭字辻の内

磐越東線小野新町駅よりバス石川、小平
行諏訪神社前下車徒歩3分

元禄14年(1701)宮大工伊藤久賀之助の作といわれ、本殿の両面をはじめ随所に細美な彫刻をほどこした優美な建物である。

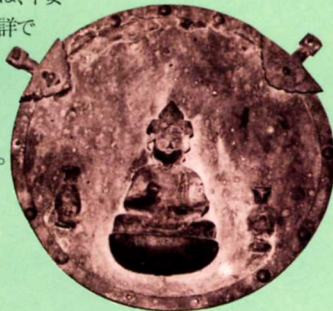
御正体(懸仏)

町重要文化財
昭和50年2月26日 町告示 第6号

●所在地／大字夏井字町屋

磐越東線夏井駅より北西約800m

御正体は、金属製で円形、小野町ではこのほか塩釜神社に鉄製のものが一面ある。諏訪神社の御正体とすれば、平安時代の作となるが不詳である。しかし、県内でもこの種のものはいくつもなく希少価値のあるものである。



諏訪神社本殿

町重要文化財
昭和50年2月26日 町告示 第5号

●所在地／大字夏井字町屋

磐越東線夏井駅より北西約800m

寛文5年(1665)建立の本殿で流れ造りの壮麗な建物である。向拝の纂股は特徴あるものである。周囲の彫刻なども丁寧に彫られ品位のある美しさがよく表現されている。